



大黒屋の組合新之助研究会

研究会の概要



< 研究会主宰者 >

有限会社 大黒屋商店 (妙高市)

< 生産実績 (令和2年度) >

作付者数・・・ 21名

作付面積・・・ 43.3ha

検査数量・・・ 249.5トン

食味・品質基準適合状況

基準適合・・・ 249.5トン

(基準適合率 100%)

取組の概要

1 栽培管理対策

- 食味・品質の平準化を図るため、使用資材を統一し、事務局と資材メーカー、会員と一緒に生育調査を実施
- 生育調査データは事務局で集約後、会員にメール配信し、生育情報を共有
- 年4回の現地指導会と2回の実績検討会を開催し、会員ごとの改善点を明確して次年度の栽培に反映



2 GAPの実践

- JGAP指導員資格を有する事務局担当が独自に作成したGAP記録用紙を会員に配布し、年4回の回収と内容確認を実施
- 自己で見直しができるよう、事務局から会員に改善項目記録書を配布し、改善に向けた気づきを促進



3 区分集荷・販売

- 生産者ごとのロット管理を行い、実需者のクレームに迅速に対応できる体制を構築
- 県特別栽培米認証に取り組み、流通業者からの信頼確保と高付加価値化に対応
- 中京・関西圏への販路開拓を積極的に進めるとともに、卸業者だけでなく、実需(焼肉チェーン等)への直接売り込みを実施し、販路を拡大
- おいしさが伝わる工夫として「新之助おにぎり」を自社で製造し、県生協やスーパー等で販売

